

みさき病院 くろさき苑 コミュニティ・マガジン

フォーライフ

For Life

2024
春号
No.53



今年度みさき病院・くろさき苑では7名の新入職員を迎え入れることとなりました



みさき病院 事務長 鶴田 学

これまで、幾度となく拡がりを見せた感染症は、私たちの医療活動の根底にあり、中心になってきました。様々な活動に対し実施可能か否か毎日点検し、持ち込まない・拡げないの感染対策でした。新しい年度を迎えるにあたり、この経験と実績をしっかりと踏まえ、更なる医療介護活動を目指していこうと思います。

6月からの診療報酬改定では、今の感染対策だけでなく、病院の機能分化を更に細分化した改定となっています。要約すれば、今後の医療機関の存続に直結する厳しい改定と言わざるを得ません。私たちが地域医療を今後も担っていくためには、地域の方々との共同した取り組みを広げ、単に治療だけでなく、この地域に必要な、医療機関に求められることを大切にしなければならないと考えています。私たちと一緒に、医療介護福祉を守っていきましょう。



くろさき苑 事務長 金井 昌弥

暖冬で桜の開花に影響されないか心配でしたが、くろさき苑の桜は今年も4月にきれいな姿を見せてくれました。

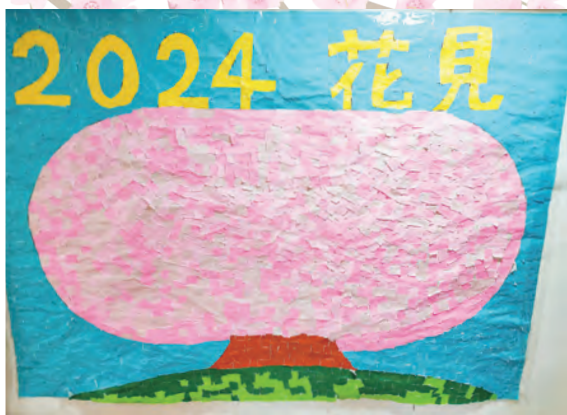
さて、新型コロナの5類変更や物価高騰など、私たちの生活に大きな影響のあった2023年もあっという間に過ぎ、4月から新年度がスタートしています。

これまで、施設利用への制限や面会の制限など、利用される方及びそのご家族に対してもご不便をおかけする機会が多く、大変申し訳ない気持ちでおります。

今年度はこの3年取り組めなかった利用者のご家族の触れ合う機会を確保する事や、地域の中での介護実践を通じて、くろさき苑をより知っていただく機会を確保すべく、職員一同取り組んでいきたいと存じます。

今年度もくろさき苑へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

みんなで楽しく願いを込めて



みさき病院 西病棟 看護師 梅田 樹里

3月26日、月行事で患者様を中心に作成した桜の貼り絵を使い、鑑賞会を行いました。

当日はその桜の貼り絵をバックにお一人ずつ撮った写真に願いを書き込み、大きな模造紙に寄せ貼りしました。「自宅に帰りたい」「歩けるようになりたい」など様々で、私たちスタッフはその願いが一つでも多く叶うように、多職種と連携しながら援助していきたいと改めて思いました。

花見終了後は栄養科手作りのデザート（ムース）をおいしくいただきました。季節感を味わいながらとても楽しいひと時となりました。



▲みんなの願いが花咲きますように

▲いつも美味しいデザートありがとう

外に足を運んでみました！

みさき病院 東病棟
介護福祉士 堀上 直樹

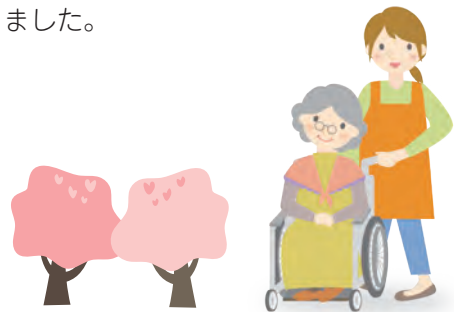
4月に入りみさき病院の桜も満開、暖かい日があり外へ出てお花見を行いました。



▲満開の桜 満面の笑顔



▲院内でのお花見



▲「立花閨千代」ののぼり旗



▲きらびやかなさげものの前で記念撮影

柳川さげもん巡り

みさきデイケア 介護福祉士 松尾 美保

みさきデイケアでは3月の月行事として「柳川さげもん巡りツアー」を開催し、久しぶりのドライブを楽しみました。車窓から見える綺麗なたくさんさげもんや、川下りをされている情景を見て、車内で感嘆の声が上がっていました。天候もよく、春の季節を先取りした1日となりました。



満開の桜を満喫！

くろさき苑療養棟 2 階
介護福祉士 坂井 弘美



▲桜の下で

くろさき苑療養棟 2 階では、4 月 4 日にお花見を行いました。以前は屋外で行っていましたが、現在は感染対策により療養棟内で行っているため、事前に利用者様や職員の協力で作成した折り紙のしだれ桜をホールに飾りました。

当日はリハ職員による体操や歌、4 月生まれの方の誕生日会も一緒に行いました。昼食は栄養科にお花見弁当を準備していただき、いつもと違う食事に利用者様は「美味しい！」と喜ばれていました。また、ノンアルコールビールや甘酒も振舞われ、施設ならではの楽しみ方になりました。午後からはお散歩を行い、満開の桜を満喫することもできました。久しぶりにお化粧をした利用者様の笑顔がとても印象的でした。



▲手作りのしだれ桜



▲お弁当食べてます



▲花見弁当

わ は は 輪和笑の会 ご紹介

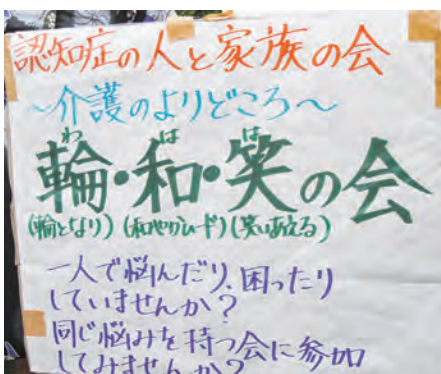
みさき病院 地域連携室 坂口 真子

みなさん、みさき病院に輪和笑（わはは）の会があるのを知っていますか？

輪和笑の会とは、2010 年に誕生した認知症患者家族の会です。今年 14 年目に入り、2024 年 1 月に第 120 回を迎えました。コロナ禍で中断を余儀なくされた時期もありましたが、講師を招いて学習会をしたり、認知症や家族をテーマにした映画を鑑賞したり、リフレッシュ目的でフラワーアレンジメントやアロマ体験をしたりと、様々な活動を行っています。同じ経験をした者同士だからこそ、「昔のことはよう覚えとらすもんね」というふうに声をかけあっておられます。悩みを相談できない方も多いと思います。興味のある方はぜひ、ご連絡ください。



▲フラワーアレンジメントの作品



▲ 2011 年みさき病院盆踊り大会のお店の前の掲示



▲ 年 2 回ほど田中先生に話してもらっています



＼お花見のお供に♪／

春の炊き込みご飯

材料 257kcal/1人前

- 桜の花の塩漬け…………… 適量
- 米…………… 2合
- にんじん…………… 50g
- ごぼう…………… 1/2本
- こんにゃく…………… 1/4丁
- 油揚げ…………… 1/2枚
- 鶏ガラスープ…………… 360cc
- 薄口醤油…………… 大さじ1
- A** ●酒…………… 大さじ1
- みりん…………… 大さじ1/2
- 塩…………… 小さじ1/3

準備

- 桜の花の塩漬けは水につけて塩抜きする。米は洗ってザルに上げて30分置く。



みさき病院 栄養科
調理師 高島 咲

コメント

春の行楽レシピとして桜の塩漬けを飾りましたが、なくても大丈夫です。ぜひ、お花見にどうぞ

作り方

- ① にんじんは皮をむいて4cm長さの千切りにする。
ごぼうは洗ってさがきにする。
- ② こんにゃく、油揚げは湯通しして細切りにする。
- ③ **A**をあわせる。
- ④ 炊飯器に材料と米と**A**を入れ、普通炊飯する。
- ⑤ おにぎりを作って桜の塩漬けを飾る。



Information event & seminar



2023年12月21日にコードホワイト訓練を初めて行いました。コードホワイトとは、院内で発生した暴力等に対応する、職員に向けた緊急コールのことで、さすまたを使用しての基本動作の確認を行いました。



薬局 情・報・カ・プ・セル

アレルギーとの付き合い方



みさき病院薬剤科 薬剤師 後藤 崇斗

春は花粉症に悩まされる季節です。花粉に限らずアレルギーによる鼻水や鼻づまり、目のかゆみ等の症状に悩まされている方も多いことでしょう。今回はアレルギーの症状を抑える薬についてお話ししたいと思います。

アレジオンやアレグラといった市販でも販売されている薬は病院で処方される薬よりも効果がやさしいものが多いです。症状が軽めの方はこれらの薬で対処するのもよいでしょう。小青竜湯などの漢方薬も症状を抑えるのに役立ちます。市販薬では抑えるのが難しいと感じる方は一度耳鼻科を受診して、自分は何のアレルギーなのか、どれくらい強く反応しているのかを検査してもらうことをおすすめします。季節性アレルギー以外にもペットのフケやハウスダスト等の通年性アレルギーを併発している人も少なくありません。

毎日を快適に過ごすためにも、自分の体のことを知ることで症状との付き合い方を考えていきましょう。